

聞こえない人も聞こえる人もともに楽しむ字幕付き邦画上映会
『天使のいる図書館』（日本語字幕付き）

日 時：2017年11月19日（日）

13時～15時（開場：12時30分）

入場無料

場 所：大和郡山市三の丸会館小ホール 入場無料 自由席
近鉄郡山駅から徒歩5分、JR郡山駅から徒歩15分

主 催：奈良県中途失聴・難聴者協会 OHP金魚 共催

連絡先：FAX:0743-66-0847（出口）F/T:0743-54-6797（安藤）

「聞こえない人も聞こえる人もともに楽しむ字幕付き邦画上映会」について

私たち「奈良県中途失聴・難聴者協会」の会員は、聞こえにくくて不自由したり困ったりしていることを、少しでも解決して、聞こえにくくても普通に生活していきたいと、いろいろな活動をしています。

映画は私たちの楽しみの一つです。なぜなら洋画には字幕が必ずついていて、聞こえにくくても楽しめるからです。でも、邦画には字幕がついていません。話題になっている映画を、公開中に見たいと思ってもかなわないことの方が多いのです。邦画にも字幕が付けば、聞こえない人も聞こえる人も一緒に楽しめる。私たちの願いを形にし、多くの皆さんに字幕の良さを分かってもらい、字幕付きの邦画があちこちの映画館で楽しめるようになってほしいと思っています。

<story>

舞台は、美しい景観に恵まれた神話の里・奈良県葛城地域にある図書館。東京の大学を出て、地元の図書館に就職し新人の司書として働く吉井さくらは、レファレンスサービスという慣れない仕事にとまどいながら日々を過ごしていた。理科系の女の子であるさくらは、合理的な考え方と、主観で物事を語ることを嫌う性格が災いし、同僚や上司とうまく馴染めずにいる。あるとき、図書館に訪れた芦高礼子と名乗る老婦人から、神社を背景に2人の男女が写る1枚の古い写真を見せられる。地図を見るのが好きなさくらは、この土地の地理に詳しく、その場所に行くことを望んでいると早合点し、何かを言おうとする礼子にお構いなしに、その写真の場所へ連れて行く。ようやく自分を活かせる仕事を見つけたと思ったさくらは、それから度々違う写真を持ってくる礼子と共に葛城地域の名所をまわるようになっていく。そんなある日、礼子のことを知る男性（横浜流星）がさくらの前に現れる……。